

まだ止められる!

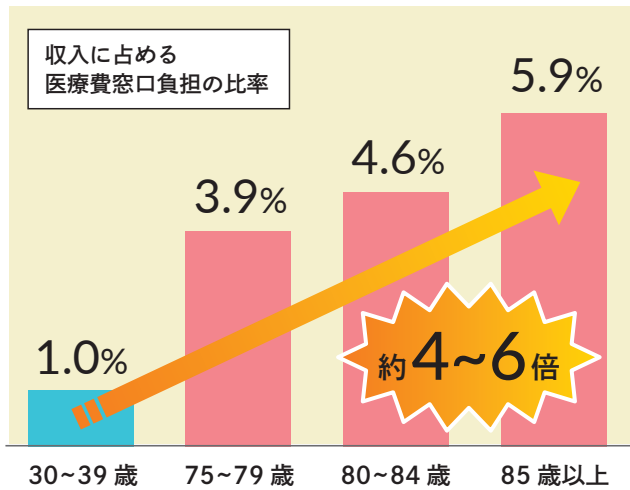
75歳以上 医療費窓口負担2割化 実施を止めよう!

2021年の通常国会でコロナ禍にも関わらず、
75歳以上の医療費窓口負担2倍にする
法律が成立しました。

約370万人(*)が対象。今後も対象拡大が狙われています。
実施は早ければ2022年10月とされています。
実施を止める世論を広げよう!

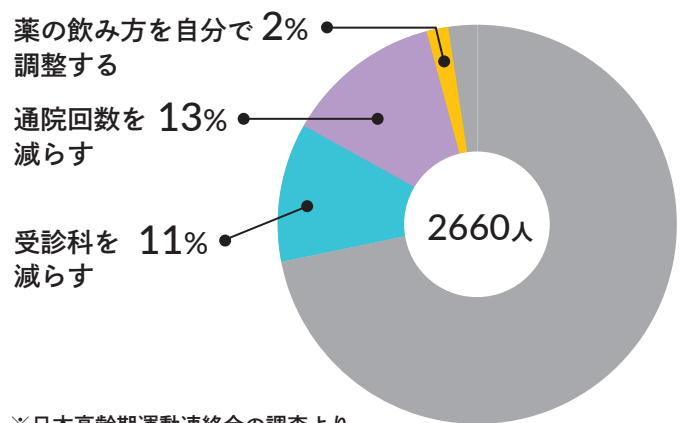
※年収200万円以上(単身)、年収合計320万円以上(複数世帯)

原則1割負担の今でも
高齢者の窓口負担は重い!



約3割が受診を抑制!

現在1割負担の方に、
2割負担になったらどうしますか?



75歳以上の窓口負担2割実施を止めましょう!!
裏面の署名にぜひご協力ください

全国保険医団体連合会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-5-5 新宿農協会館 5F
TEL: 03-3375-5121 FAX: 03-3375-1862

もっと詳しく知りたい方は、
ホームページをご覧ください。



高齢者のいのち・健康・人権を脅かす 75歳以上医療費窓口負担2割化中止を 求める請願署名

2021年6月、国会で75歳以上医療費窓口負担2割化法が可決されました。この法律が実施されると2022年後半から、75歳以上で年収200万円以上の人(約370万人)の医療費窓口負担が2割となります。

国会審議の中で、①2割負担導入による現役世代の負担軽減効果はわずか月額約30円であること、②コロナ禍の今、精神的にも経済的にも疲弊している中での高齢者への負担増は受診控えを招くことが、各種調査で明らかになっているにも関わらず、政府は「健康悪化には結び付かない」としていること、③2割負担増の対象者を国会審議を経ずに政令によって広げることができること等、数多くの問題点があきらかになりました。

コロナ禍でただでさえ高齢者の受診控えが進んでいる中、受診抑制を前提にした窓口負担増は高齢者のいのち・健康・人権の侵害です。応能負担は窓口負担に求めるのではなく、富裕層や大企業の税・保険料負担に求めるべきです。先進国では、医療費の窓口負担は無料が当たり前です。

75歳以上医療費窓口負担2割化は、高齢者の暮らしといのち、健康、人権に大きな影響を及ぼします。よって以下の事項を請願します。

《 請願事項 》

1. 高齢者のいのち・健康・人権を脅かす75歳以上医療費窓口負担2割化は中止してください

氏 名	住 所 (同上、〃は使わないでください)

※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的に使用しません。

<取り扱い医療機関、団体>